

令和5年度 職員自己評価(1学期) No. 1 (提出 13)

学校経営の改善

4…とてもよい 3…よい 2…やや不十分 1…不十分

努力点	番号	具体的方策	1学期	○(成果) △(反省点) 次(次年度への課題)
1 教育目標の具現化	1	教育目標を、学年・教科等の経営の中で具現化を図り、めざす子ども像・学校像の実現に努める。	3.2	○今年度のみんなの合言葉「一人一人が輝く学校」が示され、意識して取り組んでいる。 ○サツマイモ植え(4年)、田植え(5年)など、農業体験を地域のコミュニティと連携を取りながら実施できた。 ○中名小のイメージキャラクターができた。今後いろいろな場面で活用し価値づけを図りたい。
2 活力ある学年・学級経営の充実	2	子どもの居場所づくりに努め、秩序と向上心を育む学級づくりを進める。	3.2	
3 教育課程の編成	3	学習指導要領を理解し、学校の特色を生かして編成、完全実施し、反省・評価・改善を図る。	3.1	
4 校務分掌の機能化	4	校務分掌の内容を把握し、建設的に推進する態勢を確立し、責任をもって遂行する。	3.2	

【知】 確かな学力の定着

4…とてもよい 3…よい 2…やや不十分 1…不十分

努力点	番号	具体的方策	1学期	○(成果) △(反省点) 次(次年度への課題)
1 学業指導の徹底 ～「立腰の教育」の推進～	5	「基本的な学習のしつけ」に基づく指導(聞く→聴く・立腰)	3.1	△離席したり、私語があったりして集中して学習に取り組めていない場面があった。
2 AL(主体的・対話的で深い学び)とUD(ユニバーサルデザイン)を踏まえた授業改善の工夫	6	授業の入り口(めあて)と出口(まとめ)の明確化	3.2	△どの教科においてもめあてとまとめは必ず書くようにしたい。板書計画も意識したい。 次 振り返りで学習して分かったことや友達の考えのよかったところなどを確認し、子供たちの自己肯定感を高めたい。
	7	「何に着目させるのか」を明確にした授業	3.1	
	8	理由や根拠を明らかにする言語活動の重視	2.9	
	9	毎時間の「振り返り」による自己評価	2.7	
3 個に応じた指導の徹底	10	定着させるための時間の確保(授業の終末で、単元の終末で、土曜授業で)	3.1	次 学力向上週間の取り組みを明確にして意識して取り組めるように計画を立てたい。
	11	個人レベルの実態把握と個別指導の徹底	3.3	
	12	web問題や過去問等の計画的活用(授業、宅習等)	2.5	
4 家庭学習の習慣化	13	「家庭学習の手引き」に基づく自己学習力の育成と確実な評価(見届け)	2.9	次 学力向上週間と合わせて家庭学習も意識して取り組めたらよいと思う。
5 特別支援教育の充実	14	「個別的教育支援計画」や「個別の指導計画」に基づいたきめ細やかな指導の展開	3.3	○相談支援センターや児童発達支援と連携し、保護者を交えたケース会議を行い、方向性について共通理解を図ることができた。 次 夏休みにWISC3の検査を計画している。
	15	計画的な教育相談と適切な就学指導の推進	2.9	
6 授業力のアップ ～校内研修の充実～	16	研究テーマに基づく実践的研究の推進	3.2	○ 初任者研修の先輩授業を快く引き受けていただき、授業づくりについて学ぶことができた。 ○ 初任者研修の研究授業にたくさんの先生方が携わってくださり、授業をみんなで考えようという雰囲気が伝わってきた。 次 研究テーマに基づいて夏休み中に班別研修を設定している2学期から意識した取組ができたらよい。 次 県教員等研修計画における研修履歴を作成できるように研修一覧等を示していきたい。
	17	授業設計力の向上(学習指導要領解説書、学びの羅針盤等の活用)	2.8	
	18	短期研修や校外研修等への積極的な参加	2.6	
7 GIGAスクール構想への取組	19	タブレット端末を活用した授業への積極的な取組	3.1	次 対話活動を意識してタブレットを有効活用してほしい。

職員相互評価 No. 2

【徳】豊かな心の育成

4…とてもよい 3…よい 2…やや不十分 1…不十分

努力点	番号	具体的方策	1学期	○(成果) △(反省点) 次(次年度への課題)
1 道徳教育の充実	20	価値を自分自身の問題として捉え、向き合う授業「考える道徳」「議論する道徳」の実践	2.9	○ 初任研の先輩授業で校長先生の授業を参観することができた。「考える道徳」を展開するには、教師の発問の大切さを感じた。
	21	「命の教育」の充実	3.0	
2 人権同和教育の推進	22	「見つめる 思いをめぐらす 向き合う」意識	2.9	○ 全学年が人権標語に取り組み、自分や友達のことを大切にしようという意識をもたせることができた。 ○ 学校生活調べを実施するなどいじめについて自分を振り返らすことができた。
	23	人権の日・校内人権週間等の取組の充実	3.1	
	24	年間を見通した計画的な研修(校内・校外)の推進	3.2	
3 積極的な生徒指導の展開	25	「見過ごさない 見逃さない 見放さない」意識	3.3	○ 月一回の学校生活アンケートを実施し、いじめに対して積極的に事実確認し、的確な指導を行い保護者へ連絡している。また、全職員で共通理解を図っている。
	26	「学校生活アンケート」「学校楽しい」と等を活用した的確な実態把握	3.2	
	27	意図的・計画的な教育相談の推進(保護者との連携)	3.0	
4 「今の姿」と「残り姿」の重視	28	最後の姿を整えることでの心の落ち着き	3.0	△ 教室のロッカーや引き出しなど自分の持ち物の整理整頓ができていないことが多い。
	29	次に使う人や周りの事を考えた「後始末」	2.9	
5 係活動や委員会活動の重視	30	「時間いっぱい」の活動の展開	2.8	△ 環境整備の見届けが不十分で、児童の忘れ物や、なくしもの多かった。なぜ整理整頓が大切なのか意識づけをさせ、毎日のピカピカタイムや掃除時間の徹底に努めたい。 ○ 児童代表保健委員会に参加しない子供たちへの美化活動が計画的に実施できた。児童会活動として先生方も一緒に活動しましょう。
	31	「丁寧な指導と確実な見届け」による自主性の育成	3.1	
6 体験活動の充実	32	「ねらい(何のために)」を明確にした体験活動等の展開	3.0	△ 朝ボランティア活動の呼びかけの放送があるが具体的な動きがみられない。自主的な活動ではあるが、アイデアや工夫があると面白いと思う。
7 読書指導の充実	33	読書意欲を高める取組の工夫(全体・個)	3.3	○ 図書室の掲示や階段の図書コーナーがとても充実している。子供たちの読書意欲につながっていると感じた。
	34	本に親しむ環境づくりの推進	3.5	

【体】健康・安全の徹底

4…とてもよい 3…よい 2…やや不十分 1…不十分

努力点	番号	具体的方策	1学期	○(成果) △(反省点) 次(次年度への課題)
1 生活リズムの確立	35	「早寝・早起き・朝ごはん」の定着	3.2	次 学校保健委員会で子供たちの健康状態が示された。課題に対しては年間通して取り組めるよう学級PTA等で話題にできるとよい。 ○ 養護教諭による保健指導が各学年で実施された。専門的な指導があり子供たちにとってよい学びとなった。
	36	メディアコントロールを重視した継続的な指導(生活リズムふりかえり週間等の活用)	3.0	
2 健康教育の促進	37	姿勢指導の徹底(立腰・・・「背筋を伸ばす」意識づけ)	3.0	
	38	歯磨きの励行と早めのむし歯治療	3.1	
	39	現代的健康課題(性・喫煙・飲酒・薬物)への対応	3.1	
3 学校体育の充実	40	しっかりと考え、汗をかく授業の展開(運動量の確保)	3.4	○ 朝の駆け足を高学年がリードしながら実施できている。中名小のよき伝統として、これからも充実した取組ができればいいと思う。
	41	「目標の提示」「課題を解決する活動」「振り返る活動」の設定	3.3	
	42	体力向上に向けた取組(朝のかけ足・縄跳び・ちよとれ等)の推進	3.3	
4 学校給食・食育の充実	43	年間指導計画に基づいた給食指導の推進(当番活動 マナー バランス 食習慣 感謝等)	3.0	△ 給食当番でのマスク忘れが多く、上手に当番活動を回せなかった。給食中のマナーも見直していきたい。
	44	全体計画を踏まえた「食に関する指導」の推進(栄養教諭の活用 食に関する知識 食を選択する力等)	3.2	
5 学校安全の充実	45	全校体制による安全点検の実施とその迅速な対応	3.2	○ 月一回の安全点検を実施し、学校で修理できないものについては、市教委に修繕申請をし、子供たちへの安全面については即対応している。(桜の木伐採、プールの側溝蓋の留め金ボルト取り換え、職員室照明LED) 対応中(放送の音量調節ねじ、給食コンテナ室外の雨漏り) △ 教室、廊下、階段で走りまわったり、大声を出したり、ベランダに出たり、危険な場面を見る。その都度、指導している。
	46	定期的な通学路や危険箇所の見直し	3.3	
	47	危険を予測し、回避する能力を育てる安全教育の推進	3.0	